

# 車いすバスケットボールに挑戦

【吉賀町立柿木小学校】

ねらい

車いすバスケットボール体験を通して、パラスポーツの魅力について知るとともに共生社会への理解を深める。

いつ

令和3年12月10日（金）

どこで

吉賀町立柿木小学校 体育館

だれが

児童（全校：50名）

※講師…片寄 哲也 氏

[島根県社会福祉協議会]

なにを

○車いすバスケットボールに関する講話

○車いすバスケットボールの指導

概要

- ・講師の車いすバスケットボールとの出会いや競技の魅力など体験談を聴きながら、障がいや車いすバスケットボールについて学ぶ。
- ・車いすバスケットボールの体験を通して、競技のおもしろさや難しさなどについて感じるとともに、パラスポーツへの興味・関心を高める。



東京パラリンピックでの車いすバスケットボール日本代表の活躍を話題に出しながら、車いすバスケットボールの魅力や難しさを長年競技に携わってこられた片寄氏からお話いただきました。これまで、島根県の代表選手としてご活躍された片寄氏は、「車いすバスケットボールならではの楽しさやおもしろさを感じてもらえたらいいなと思ってやって来ました。せっかく上手になったので、二人、三人…と人数を増やして息を合わせてやるところも、ぜひ体験してほしい。」と子どもたちにエールを送られました。初めて車いすバスケットボールに挑戦した子どもからは、「車いすを操作するのは楽しかった。ドリブルが難しいので、片寄さんはすごいと思いました。」という感想が聞かれました。昼休みに自分から挑戦する姿も多くあり、パラスポーツへの興味・関心を高めるきっかけとなりました。